

# 望岳山莊

いっ

——中嶋嶺雄

去る十月二十八日から十一月一日まで「新世紀への知的戦略」と題して当地で開かれた第十二回「アジア・オープン・フォーラム」

松本会議は、多くの皆様の支援のお蔭で、成功裡に幕を閉じたことができた。参加した方々には様々な感慨をお持ちいただけたように、感想やご意見を多数頂戴している。有賀正・松本市長をはじめ松本商工会議所、松本

コンベンション・ビューロー、松本青年会議所、才能教育研究会など、地元の方々や松本市民のご協力にたいし、厚く御礼申し上げますねばならない。

「アジア・オープン・フォーラム」は国交のない台湾と日本との知的な出会いの場であり、また関係諸国の専門家やジャーナリストも加わる国際会議であるが、第一線で活躍している知識人が多く参加し、濃い内容の会議であるので、今回も様々なメディアが報道していた。本紙にも詳しい記事を連日のように掲載していただき、

## リレーコラム

感謝している。

話題となった台湾の李登輝前総統が松本会議への出席を強く希望されていたが、それが実現できなかったのは残念であったが、李登輝氏は松本会議の模



## 「アジア・オープン・フォーラム」

と、激しい雨のなかを宿舎の上高地帝国ホテルを拠点に明神池一帯を一行と一緒に歩き、翌日は自家用機で早々に帰国した台湾財界のリーダー、辜濂松・中国信託商業銀行董事長とから、詳しい報告を

様をつぶさに知っています、会議の直後に拙宅へ劳いの電話をかけてこられた。会議後の上高地一泊旅行に加わらず一足先に帰台した李登輝氏の娘婿、頼国洲・台湾テレビビ董事長

受けたとのことであつた。今回の「アジア・オープン・フォーラム」松本会議から帰った直後に国際的に注目を浴びることとなったジャーナリストに、香港から来たワイリー・ラム

(林和立)氏がいる。彼は、伝統ある香港の英字紙「サウス・チャイナ・モーニング・ポスト」の副編集長兼中国主幹で、彼の中国政治経済分析は実に鋭く、香港内外の注目を集めていたのだが、同

紙のオーナーが中国当局の圧力でラム氏の表現の自由を拘束する措置(中国主幹から外す)をとったため、同氏が職場を去る決意をしたと全世界に報道された。松本では美ヶ原温泉の野天風呂を大変

気に入ってあんなに楽しそうであったのに、と私はいささか気掛かりだが、同氏の筆力を知っているの、活躍の場は必ず保証されるものと信じている。多くの参加者は、会場をホテルから音楽文化ホールに移した、今回を最後の「アジア・オープン・フォーラム」閉幕セレモニーにおけるスズキ・メソッドの子供たちのヴァイオリン演奏にも感激していたが、私にとりて印象深かったのは、旧開智学校の紹介が台湾の代表団に大変喜ばれたことであった。台湾の貴賓・郭婉容女史

## で感じたこと

(元行政院財政部長)は、開智学校で知った近代教育草創期の信濃教育の精神や儒教の仁義忠孝を原理とした明治天皇の「教学聖旨」が、ご自身が育った日本統治下の台湾の立派な学校教育と重なって、とても感銘したとのことであった。

この松本には、世界の人々を感激させる文化遺産や活きた知的財産が数多いことを当の松本市民がもっと自覚し、大事にしてほしいと改めて思った次第である。

(東京外国語大学長(松本市出身))